## 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症を原因とした死亡・入院・通院等に対する生命系共済金として、2022年度（2022年6月1日～2023年5月31日）に約305億円をお支払いしました。そのうち、「みなし入院」による入院共済金は、約284億円のお支払いとなりました。

●新型コロナウイルス感染症にかかる生命系共済金お支払い状況

| | 総支払件数 | 支払金額 |
|---|---|---|
| 2022年度 | 730,510件 | 30,528,891,177円 |
| 累計 | 892,993件 | 40,422,214,434円 |

※2022年6月1日～2023年5月31日
※2020年3月9日～2023年5月31日

## 大規模災害への対応

2022年9月に発生した台風14号など大規模災害への対応では、ご加入者がご請求手続きを簡便におこなっていただけるよう、自己申告書と修理見積書等によるご請求手続きを基本としながら、訪問を希望されるご加入者には感染症対策を施した上で、被災状況を現地調査し、一日も早い共済金のお支払いに努めました。

●被災受付・共済金等お支払い状況（2023年5月31日時点・住宅損害）

| 主な大規模災害名 | 被災受付件数 | 調査等完了件数 | 共済金等支払累計 |
|---|---|---|---|
| 2022年6月降雹 | 7,784件 | 7,288件 | 2,319,684,423円 |
| 2022年台風14号 | 19,405件 | 18,121件 | 5,097,657,198円 |
| 2023年冬期災害 | 17,608件 | 11,796件 | 3,017,477,367円 |

## おかげさまで「こくみん共済」は、2023年5月に、誕生40周年を迎えました。

感謝の気持ちを、次の一歩へ。
40th anniversary こくみん共済

こくみん共済は、「はたらく仲間のたすけあいとして始まった共済を、より多くの方にお届けしたい」との想いから、年齢・性別にかかわらず、充実した保障を家計にやさしい掛金で、1983年5月に誕生しました。

40周年を機に、「こくみん共済 coop 公式アプリ」や、暮らしをトータルにサポートする「こくみん Lifeサポート」といった、さらなるお役立ち・利便性向上をめざす新しいサービスを開始したほか、組合員の皆さまへ感謝の気持ちを込めたイベントを全国各地で開催しています。

これからも、時代や社会の変化にあわせ、商品・サービスの魅力を高めていくことで、組合員の皆さまの暮らしにさらなる安心をお届けしていけるよう、尽力してまいります。



<発行> こくみん共済 coop（全国労働者共済生活協同組合連合会）ブランド戦略部
〒151-8571　東京都渋谷区代々木2-12-10
90c23W004



# 2022年度　事業と経営の概況

（2022.6～2023.5）

公式キャラクター ピットくん

## 2022年度の事業に関する主な取り組み

2022年度は、「こくみん共済 coop 中期経営政策2022－25 ～変革と創造～」の初年度として、お役立ち発想と共創活動にデジタル技術を取り入れた「新しいたすけあい」の創造・実践を開始し、めざす姿として設定した「3つの姿」にもとづき、さまざまな活動を展開しました。

### 組合員・生活者との姿　～寄り添う、身近な存在～

**●こくみん共済 coop 公式アプリのリリース**

契約内容の確認や共済金のご請求など、いつでもどこでもより便利にご利用いただくために、組合員との新たなコミュニケーションツールとして公式アプリを2023年5月にリリースしました。

また、WEBを通じた各種共済の加入・変更・継続の手続きができる機能を拡充しました。

〈WEB機能の拡充〉
- 2022年8月：マイカー共済、住まいる共済の既組合員むけ加入手続き機能
  マイカー共済の満期継続手続き機能
- 2022年11月：マイカー共済の契約変更手続き機能
- 2023年3月：生命系共済金請求手続き機能
- 2023年5月：公式アプリのリリース

**●こくみん Lifeサポートの開始**

もしもに備える「共済」に加え、事前の備え、事後のフォローと生活全般のサービスを提供する「生活設計サポート」により、暮らしを支える「こくみん Lifeサポート」を2023年5月より開始しました。

### 協力団体・共創パートナー団体との姿　～事業と運動の強固なパートナーシップ～

**●お役立ち提案の展開**

協力団体で実施する共済制度の充実をはかるため、団体生命共済の商品改定（2022年6月）を踏まえたお役立ち提案を展開し、協力団体との関係強化をすすめました。

**●共済を通じた社会課題解決の取り組み**

子どもたちをみんなで事故から守る「7才の交通安全プロジェクト」（マイカー共済の見積件数に応じた横断旗の寄贈）と子どもたちのすこやかな成長を応援する「こどもの成長応援プロジェクト」（こくみん共済「こども保障タイプ」の加入件数に応じたなわとび・長なわの寄贈）を継続展開しました。

また、防災・減災等の地域に根ざした活動を通じて、協力団体・共創パートナー団体との共創活動をすすめました。

### 業務・経営の姿　～最適な体制、人財の活躍、さらに健全な経営～

**●共済事務・お支払い業務の高度化・効率化**

お役立ちDXの取り組みを通じて、共済事務・共済金お支払い業務のデジタル化を進めました。

※お役立ちDX…デジタル社会における生活・事業環境の変化を見据え、時代にあわせた事業のあり方にむけて、デジタル技術を活用して変革をおこなう、こくみん共済 coop 総体として推進する取り組み。

**●損害調査業務の抜本改革の取り組み**

損害調査業務の高度化・効率化、サービス向上にむけて、2022年10月に東京海上日動火災保険株式会社との共同出資会社「共同事務調査サービス株式会社」を設立しました。

## Ⅰ 契約高は779兆円、支払共済金は3,455億円となりました

2022年度は、契約高779兆円、受入共済掛金5,409億円、契約件数2,913万件、契約口数39.1億口となりました。

(1)共済別の契約件数は、マイカー共済、自賠責共済、自然災害共済などの損害系共済のほか、終身生命共済が前期を上回りました。一方、その他の生命系共済、火災共済、交通災害共済が前期より減少しました。

(2)契約口数では、2022年6月に制度改定を行った団体生命共済やマイカー共済、自賠責共済、自然災害共済などの損害系共済、終身生命共済で前期を上回りました。

(3)支払共済金は、新型コロナウイルス感染症に関するお支払いや台風による住宅の被害へのお支払いなどをすすめた結果、3,455億円をお支払いし、組合員の皆さまにお役立ていただきました。

### ●事業の成果

| | 契約高 | 契約件数 | 契約口数 | 受入共済掛金 | 支払共済金 | 支払件数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2022年度 | 779兆円 | 2,913万件 | 39.1億口 | 5,409億円 | 3,455億円 | 268.2万件 |

### ●契約件数の内訳

(2023年5月31日現在)

| | | | |
|---|---|---|---|
| 火災共済 | 391万件 | 団体生命移行共済 | 6万件 |
| 自然災害共済 | 219万件 | 個人長期生命共済 | 66万件 |
| 交通災害共済 | 246万件 | ねんきん共済 新団体年金共済等 | 75万件 |
| マイカー共済 | 220万件 | 終身生命共済 | 45万件 |
| 自賠責共済 | 27万件 | 火災再共済 | 16万件 |
| 団体生命共済 | 502万件 | 慶弔再共済 | 429万件 |
| こくみん共済 | 521万件 | 受託事業 | 149万件 |

契約件数　合計 2,913万件

### ●支払共済金の内訳

| | | | |
|---|---|---|---|
| 火災共済 | 180億円 | 個人長期生命共済 | 384億円 |
| 自然災害共済 | 166億円 | ねんきん共済 新団体年金共済等 | 860億円 |
| 交通災害共済 | 29億円 | 終身生命共済 | 205億円 |
| マイカー共済・自動車再共済 | 489億円 | 個人賠償責任共済 | 4億円 |
| 自賠責共済 | 14億円 | 火災再共済 | 1億円 |
| 団体生命共済 | 430億円 | 慶弔再共済 | 36億円 |
| こくみん共済(団体生命移行共済含む) | 657億円 | | |

支払共済金　合計 3,455億円

## Ⅱ 経常剰余金は609億円となりました

(1)経常収益は、前期比174億円減少の6,380億円、経常費用は、5,771億円となりました。

(2)資産運用純益は、前期比49億円減少の505億円となりました。運用利回りは1.39%となりました。

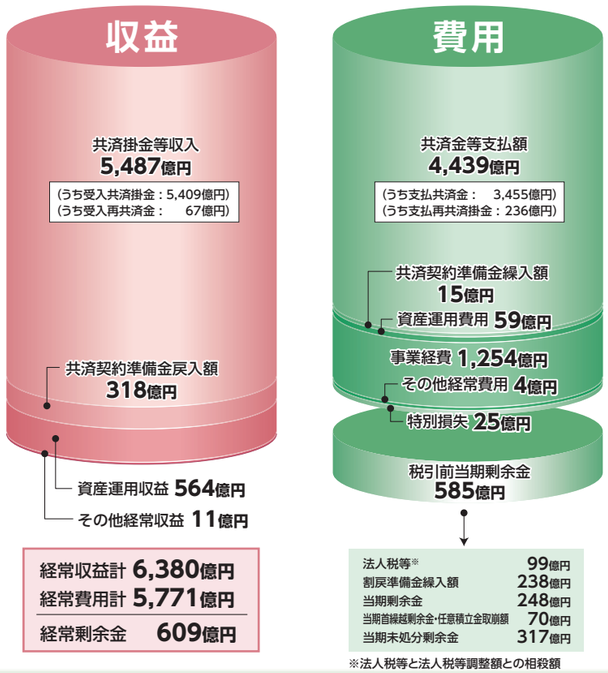
(3)この結果、経常剰余金は、前期比174億円減少の609億円となりました。当期剰余金は248億円となり、当期未処分剰余金は317億円となりました。

(4)また、契約者割戻金については、新型コロナウイルス感染症に関する支払共済金の増加により危険差損益が減少したため、前期比74億円減少の238億円となりました。

### ●契約者割戻金

| 共済 | 割戻金 |
|---|---|
| 団体生命共済 | 114億円 |
| こくみん共済(短期) | 81億円 |
| 個人長期生命共済 | 35億円 |
| 新団体年金共済 | 3億円 |
| 終身生命共済 | 5億円 |
| 合計 | 238億円 |

### ●損益の状況



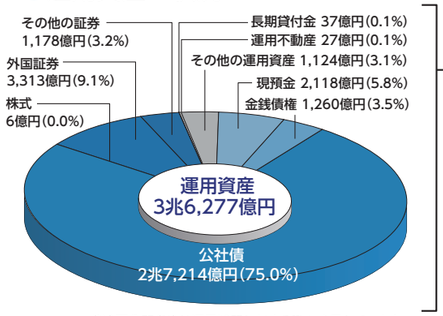

※法人税等と法人税等調整額との相殺額

## Ⅲ 総資産は4兆293億円となりました

(1)総資産は、前期比72億円減少の4兆293億円となりました。このうち、運用資産は、前期比123億円減少の3兆6,277億円となりました。

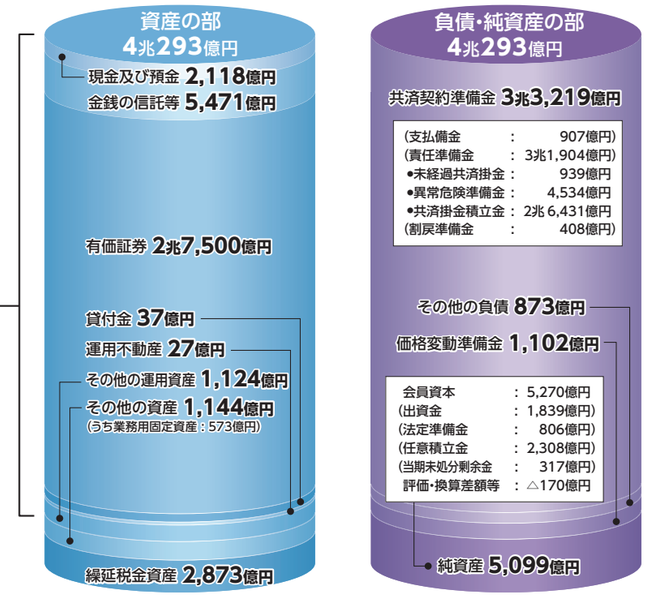
(2)負債は、前期比157億円減少の3兆5,194億円となり、純資産は、前期比86億円増加の5,099億円となりました。

### ●運用資産の状況




(注)百分率(%)は運用資産に対する割合を示しています。

### ●資産と負債・純資産の状況




## Ⅳ 組合員の信頼に応えられる充分な健全性を有しています

基礎利益は、前期比310億円減少の996億円となりました。支払余力比率は、前期比で50.8ポイント上昇し、2,241.9%となりました。

### ●基礎利益　996億円

| | 2021年度 | 2022年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 基礎利益 | 1,306億円 | 996億円 | △310億円 |
| 費差損益 | 11億円 | 10億円 | △1億円 |
| 利差損益 | 46億円 | 17億円 | △29億円 |
| 危険差損益 | 1,249億円 | 970億円 | △279億円 |

(注)基礎利益は、経常剰余金から有価証券売却損益等の「キャピタル損益」と異常危険準備金繰入額等の「臨時損益」を控除した額です。

### ●支払余力比率　2,241.9%

| | 2021年度 | 2022年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 支払余力総額(A) | 1兆4,331億円 | 1兆4,571億円 | 240億円 |
| リスクの合計額(B) | 1,308億円 | 1,300億円 | △8億円 |
| 支払余力比率 (A)/{(B)×(1/2)}×100 | 2,191.1% | 2,241.9% | 50.8P |

(注1)消費生活協同組合法施行規則ならびに同法施行規程にもとづいて算出しています。
(注2)生命共済事業と損害共済事業の両方を実施しているため、生命保険会社または損害保険会社のソルベンシー・マージン比率と単純に比較できません。

### ●修正自己資本　1兆721億円
### 修正自己資本比率　26.6%

| | 2021年度 | 2022年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 修正自己資本 | 1兆631億円 | 1兆721億円 | 90億円 |
| 修正自己資本比率 | 26.3% | 26.6% | 0.3P |

### ●実質純資産額　1兆6,277億円
### 実質純資産比率　40.4%

| | 2021年度 | 2022年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 実質純資産額 | 1兆7,113億円 | 1兆6,277億円 | △836億円 |
| 実質純資産比率 | 42.4% | 40.4% | △2.0P |

(注)実質純資産額とは、異常危険準備金等を含んだ広義の「自己資本」に「含み損益」を加算した額です。言い換えると、時価ベースの総資産額から負債(異常危険準備金等の資本性を有する負債を除く)を引いた額です。